

光海底ケーブル給電路障害位置測定器

1988 年（昭和 63）、海底ケーブル給電路の障害時に迅速な修理とサービスの復旧を図るため、電気パルスエコー方式による、陸揚局設置型障害位置測定器を開発・実用化した。ケーブル障害時での迅速な修理・復旧には、陸上から障害位置を正確に測定し、現場海域で速やかに障害個所を標定する必要がある。この測定器の開発によって、手作業的な海底ケーブルの修理・復旧から、より正確で機械的な作業を可能にした。

出典：KDD 社史